

0101

様式調第1号



政府統計

統計法に基づく国の
統計調査です。調査
票情報の秘密の保護
に万全を期します。

秘
農 林 水 産 省
統計法に基づく基幹統計調査
漁 業 構 造 統 計

2018年漁業センサス

海面漁業調査

漁業経営体調査票Ⅰ (個人経営体用)

平成30年11月1日調査

	大海区	都府県 (振興局)	市区町村	漁業地区	調査区	漁業集落	客体番号
基本指標番号	：	：	：	：	：	：	：

市区町村名

漁業地区名

漁業集落名

- この調査票は、統計の作成目的以外には使用せず、得られた個々の結果についても、外に漏らしたり課税などの資料に利用することはなく、秘密を厳守することが法律により定められていますので、ありのままをご記入ください。
- 記入に当たっては、「漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）の記入の仕方」をよく読んでください。
- 黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

★ 数字は、1マスに1つずつ、枠からはみ出さないように右づめで記入してください。

★ マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。

記入例

：	：	：	9	8	7	6	5	4	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

記入例

0	→	☒
---	---	-------------------------------------

つなげる すきまをあける

★ マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

記入例

11	2	3
----	---	---

悪い例

0	→	☒	☐
---	---	-------------------------------------	--------------------------

- 調査票の内容については、本年（平成30年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間について記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成29年11月1日から平成30年10月31日までの1年間について記入してください。

- 調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。
オンラインによる回答方法は、「オンライン調査システム操作ガイド」をご参照ください。

I 世帯について

1 世帯員すべての人数

11月1日現在の**世帯員の人数**を記入してください。

		(人)			
		すべての世帯員		うち、満14歳以下の世帯員	
男	701	:	:	:	:
女	702	:	:	:	:

4 漁業を行った人

満15歳以上の世帯員（平成15年10月31日までに生まれた人）のうち、**過去1年間（平成29年11月1日～平成30年10月31日）**に**漁業を行った人**を**もれなく**記入してください。

住居を異にしており、生計を共にしていない人や、住居は共にしているが、生計を共にしていない人については、記入しないでください。

経営主とは、自家漁業の経営に責任を持つ人や、経営の意思決定を行う人です。

①続柄番号

- 01：経営主
- 02：経営主の配偶者
- 03：子（満15歳以上）
- 04：子の配偶者
- 05：経営主の父母
- 06：経営主の配偶者の父母
- 07：兄弟姉妹
- 08：祖父母
- 09：孫（満15歳以上）
- 10：孫の配偶者
- 11：その他（上記以外）

漁 つ 定	経営主 との 続 柄	性別		出生の年月				日数				業日数			
		男	女	該当する元号と出生の年月を記入											
	①	②	③				④				⑤				
	続柄番号 を記入	いずれか にマーク	大 正	昭 和	平 成	年	月	日数を記入 (日)							
731	0 1	0 0	0 0	0 0	0	:	:	:	:	:	:	:	:	:	
732	:	0 0	0 0	0 0	0	:	:	:	:	:	:	:	:	:	
733	:	0 0	0 0	0 0	0	:	:	:	:	:	:	:	:	:	
734	:	0 0	0 0	0 0	0	:	:	:	:	:	:	:	:	:	
735	:	0 0	0 0	0 0	0	:	:	:	:	:	:	:	:	:	
736	:	0 0	0 0	0 0	0	:	:	:	:	:	:	:	:	:	
737	:	0 0	0 0	0 0	0	:	:	:	:	:	:	:	:	:	
738	:	0 0	0 0	0 0	0	:	:	:	:	:	:	:	:	:	

海上作業日数の数え方

- ・ 1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
- ・ 1航海が1夜の場合（夕方出港し、翌朝入港した場合）は1日とします。
- ・ 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- ・ なお、遊漁船業は含みません。

2 世帯としての収入

世帯としての収入は、自家漁業と自家漁業以外の仕事でどちらが多かったですか。

当てはまるものに記入してください。

自家漁業の収入のみ		711	0
自家漁業以外の収入があった	自家漁業の収入が多かった		0
	自家漁業以外の収入が多かった (不動産による収入を含み、年金は含みません。)		0

自家漁業には、共同経営や雇われは含みません。

3 自家漁業の後継者の有無

当てはまるものに記入してください。

721	いる	いない
	0	0

後継者とは、過去1年間に漁業を行った人のうち、将来自家漁業の経営主になる予定の人をいいます。
調査日現在(11月1日)、自家漁業を行っていないにもかかわらず、

過去1年間にした仕事										経営主とともに経営方針の決定に関わっている						
自家漁業の海上作業日数が多かった漁業種類			10月下旬に自家漁業の海上作業を行った	過去1年以内に漁業を始めた人	うち、今年の3月に学校を卒業した人	自家漁業以外の自営業	共同経営の漁業の仕事	雇われて漁業の仕事	雇われて漁業以外の仕事	日数が最も多かった仕事	日数が多かった方 自家漁業 他の仕事	経営主とともに経営方針の決定に関わっている				
1位	2位	3位	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱				
全国漁業種類番号を記入			該当するすべてにマーク								下の当てはまる番号を記入	いずれかにマーク	該当にマーク			
1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0	0	0	:	0	0	
1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0	0	0	:	0	0	0
1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0	0	0	:	0	0	0
1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0	0	0	:	0	0	0
1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0	0	0	:	0	0	0
1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0	0	0	:	0	0	0
1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0	0	0	:	0	0	0
1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0	0	0	:	0	0	0

6ページの「全国漁業種類番号」で当てはまる番号を記入してください。

⑰日数が最も多かった仕事

- 1: 自家漁業
2: 自家漁業以外の自営業
3: 共同経営の漁業の仕事
4: 雇われて漁業の仕事
5: 雇われて漁業以外の仕事

過去1年間で次のいずれかの決定に参画した人(経営主を除く。)に記入してください。
・漁業種類の選定・操業計画
・養殖種類の選定・規模
・出荷先
・資金調達
・漁船装備・養殖施設などの投資
・雇用の決定・管理

Ⅱ 自家漁業に雇った人

1 海上作業に雇った人数

- (1) 11月1日現在の**海上作業に雇った人の有無**を記入してください。雇った人がある場合は、項目ごとにその人数を記入してください。

海上作業に雇った人がいない	201	0
海上作業に雇った人がある		0

日本人	うち、過去1年以内に漁業を始めた人	外国人
①	②	③
千 百 十 (人)	千 百 十 (人)	千 百 十 (人)
211		

雇った日本人のうち、30日以上海上作業を行った人を年齢別に記入

過去1年以内に漁業を始めた人とは、漁業で恒常的な収入を得ることを目的に主として漁業に従事した人で、以下のいずれかに該当する人です。

- ・新たに漁業を始めた人（過去に漁業に従事していて、再び漁業を始めた人を含む。）
- ・他の仕事为主であったが、漁業が主となった人（他の産業に従事等）

ここでは2ページの世帯員ではなく「雇った人数」を記入してください。

- (2) (1)の日本人のうち、過去1年間に**30日以上海上作業を行った人数を年齢別に**記入してください。(人)

		男	女
計	221		
15～19歳	222		
20～24歳	223		
25～29歳	224		
30～34歳	225		
35～39歳	226		
40～44歳	227		
45～49歳	228		
50～54歳	229		
55～59歳	230		
60～64歳	231		
65～69歳	232		
70～74歳	233		
75歳以上	234		

2 陸上作業に雇った人数

過去1年間の**漁業の陸上作業について、最もさかんな時期に雇った人数**を記入してください。

		千 百 十 (人)
計	241	
男	242	
女	243	

Ⅲ 漁船

- 1 過去1年間に漁業に使用した漁船について、当てはまるものすべてを記入してください。
(借りた漁船を含みます。)
- また、漁業に使用した漁船のうち、11月1日現在で持っている隻数(借りている漁船を含み、貸している漁船は含みません。)を記入してください。

漁船を使用していない

301

0

漁船を使用した

302

0

使用していない場合は6ページへ進んでください。

無動力漁船

302

0

:

:

:

船外機付漁船

303

0

:

:

:

動力漁船

304

0

:

:

:

使用した漁船をすべてマーク

11月1日現在で持っている漁船(隻)

1台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、1隻を船外機付漁船としてください。

2 動力漁船【動力漁船についてのみ1隻ごとに記入してください。】

過去1年間に使用した漁船 (借りた漁船を含みます。)				11月1日現在で持っている漁船 (借りている漁船を含み、貸している漁船は含みません。)					
総トン数 (小数第1位まで記入し、小数第2位を切り下げてください。)		11月1日現在 持っている	過去1年間 の出漁日数	出漁日数が多かった漁業種類			販売金額が多かった漁業種類		
①		②	③	1位	2位	3位	1位	2位	3位
千 百 十 (トン)		いずれかにマーク	それぞれの漁船ごとに日数を記入(日)	全 国 漁 業 種 類 番 号 を 記 入					
401	:	:	:	:	:	:	:	:	:
402	:	:	:	:	:	:	:	:	:
403	:	:	:	:	:	:	:	:	:
404	:	:	:	:	:	:	:	:	:
405	:	:	:	:	:	:	:	:	:
406	:	:	:	:	:	:	:	:	:
407	:	:	:	:	:	:	:	:	:
408	:	:	:	:	:	:	:	:	:
409	:	:	:	:	:	:	:	:	:
410	:	:	:	:	:	:	:	:	:

平成30年11月1日現在において所有、借入れに関係なく、自らが管理運営している漁船については、「持っている」に記入してください。

出漁日数の数え方

- 1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
- 1航海が1夜の場合(夕方出港し、翌朝入港した場合)は1日とします。
- 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- なお、遊漁船業は含みません。

6ページの「全国漁業種類番号」で当てはまる番号を記入してください。

IV 漁業経営について

1 営んだ漁業種類

(1) 過去1年間に自家漁業で行った、すべての漁業種類について記入してください。

《 網 漁 業 》			《 はえ縄・釣・その他漁業 》			《 海 面 養 殖 》 (種苗養殖含む)					
全国漁業種類番号			全国漁業種類番号			全国漁業種類番号					
底 び き 網	遠洋底びき網	101	0	は え 縄	遠洋まぐろはえ縄	120	0	魚 類 養 殖	ぎんざけ養殖	136	0
	以西底びき網	102	0		近海まぐろはえ縄	121	0		ぶり類養殖	137	0
	沖合底びき網 1 そうびき	103	0		沿岸まぐろはえ縄	122	0		まだい養殖	138	0
	沖合底びき網 2 そうびき	104	0		その他のはえ縄	123	0		ひらめ養殖	139	0
	小型底びき網	105	0		遠洋かつお一本釣	124	0		とらふぐ養殖	140	0
船 び き 網			106	0	近海かつお一本釣	125	0	くろまぐろ養殖	141	0	
ま き 網	大 中 型 ま き 網	1そうまき遠洋 かつお・まぐろ	107	0	沿岸かつお一本釣	126	0	その他の魚類養殖	142	0	
		1そうまき近海 かつお・まぐろ	108	0	遠洋いか釣	127	0	ほたてがい養殖	143	0	
		1そうまき そ の 他	109	0	近海いか釣	128	0	かき類養殖	144	0	
		2そうまき	110	0	沿岸いか釣	129	0	その他の貝類養殖	145	0	
中・小型まき網			111	0	ひき縄釣	130	0	くるまえび養殖	146	0	
刺 網	さけ・ます流し網	112	0	その他の釣	131	0	ほや類養殖	147	0		
	かじき等流し網	113	0	小 型 捕 鯨	132	0	そ の 他 の 水産動物類養殖	148	0		
	その他の刺網	114	0	潜 水 器 漁 業	133	0	こんぶ類養殖	149	0		
さんま棒受網			115	0	採 貝 ・ 採 藻	134	0	わかめ類養殖	150	0	
大 型 定 置 網			116	0	そ の 他 の 漁 業	135	0	の り 類 養 殖	151	0	
さ け 定 置 網			117	0				その他の海藻類養殖	152	0	
小 型 定 置 網			118	0				真 珠 養 殖	153	0	
その他の網漁業			119	0				真 珠 母 貝 養 殖	154	0	

3 ページ I の 4 「漁業を行った人」、5 ページ III の 2 「動力漁船」及び7 ページ IV の 1 の (2) 「年間販売金額が多かった全国漁業種類番号」については、本ページの「全国漁業種類番号」を使用してください。

- (2) 過去1年間に自家漁業で行ったすべての漁業種類のうち、販売金額の多かった順に3つを
(1)の全国漁業種類番号101～154から選んで記入してください。

	1位 161	2位 162	3位 163
年間販売金額が多かった 全国漁業種類番号	1	1	1

6ページの「全国漁業種類番号」で
当てはまる番号を記入してください。

- (3) 過去1年間の漁獲物・収獲物について、魚種別の販売金額の多かった順に3つを下表の魚
種番号01～36から選んで記入してください。

	1位 171	2位 172	3位 173
年間販売金額が多かった 魚種番号			

表 魚種番号

名	称	番号	名	称	番号	名	称	番号	名	称	番号
くろまぐろ		01	ひらめ・かれい類		10	いかなご		19	ほたてがい		28
かつお・まぐろ類 (くろまぐろを除く)		02	すけとうだら		11	ふぐ類		20	その他の貝類		29
かじき類		03	その他たら類		12	その他の魚類		21	いか類		30
さけ・ます類		04	ほっけ		13	いせえび		22	たこ類		31
いわし類		05	あなご類		14	その他のえび類		23	うに類		32
あじ類		06	たちうお		15	ずわいがい べにずわいがい		24	なまこ類		33
さば類		07	たい類		16	その他のかに類		25	こんぶ類		34
さんま		08	いさき		17	あわび類・さざえ		26	その他の海藻類		35
ぶり類		09	さわら類		18	あさり類		27	その他		36

2 地方選定漁業種類について

過去1年間で地方選定漁業種類の漁業を行った場合、
そのすべての漁業種類について記入してください。

地方選定漁業種類が記載されていない場合、マークは不要です。

地方選定漁業種類 種類名	番号	マーク 該当
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0

地方選定漁業種類 種類名	番号	マーク 該当
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0

地方選定漁業種類 種類名	番号	マーク 該当
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0

- 4 過去1年間の漁獲物・収獲物の販売金額（消費税を含む。）について、**当てはまるもの一つ**に記入してください。

養殖を行っていない場合は、「うち、海面養殖」の販売金額なしに記入してください。

販売金額なし	100万円未満	100万円～300万円未満	300万円～500万円未満	500万円～800万円未満	800万円～1,000万円未満	1,000万円～1,500万円未満	1,500万円～2,000万円未満	2,000万円～5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1億円～2億円未満	2億円～5億円未満	5億円～10億円未満	10億円以上
販売金額	571	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち、海面養殖	572	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

「10億円以上」の場合は、金額も記入してください。

千億 百億 十億（億円）

四捨五入して億円単位で記入してください。

- 5 過去1年間の**すべての漁獲物・収獲物の出荷先**に記入してください。
また、**出荷額の最も多かった出荷先一つ**に記入してください。

出荷先 (該当すべてにマーク)	581	漁業協同組合 または荷さばき所	漁業協同組合 以外の卸売市場	流通業者・加工業者	小売業者・生協	外食産業	消費者に直接販売 自営の水産物直売所	消費者に直接販売 その他の方法	その他
出荷先	581	0	0	0	0	0	0	0	0
出荷額の最も多かった出荷先 (一つにマーク)	582	0	0	0	0	0	0	0	0

消費者に直接販売には、自ら生産した水産物またはそれを使用した加工品を消費者に直接販売しているものが該当します。

自営の水産物直売所には、漁業者自らが運営する直売所が該当します。

その他の水産物直売所には、共同で運営している直売所または他の人が運営している直売所が該当します。（漁業協同組合の直売所、道の駅など）

他の方法には、移動販売（行商）等のほか、インターネットや電話等により消費者から直接受注し、販売した場合が該当します。

V 漁業以外の事業について

過去1年間に行った漁業以外の事業について、**当てはまるものすべて**に記入してください。
また、**漁家民宿の過去1年間の延べ宿泊者数**を記入してください。

行っていない	水産物の加工	漁家民宿	漁家レストラン	遊漁船業	農業	小売業	その他
591	0	0	0	0	0	0	0

漁家民宿の
延べ宿泊者数
万 千 百 十 (人)

592	:	:	:	:	:
-----	---	---	---	---	---

調査は以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。

秘
農 林 水 産 省

統計法に基づく基幹統計調査
漁業構造統計

2018年漁業センサス

海面漁業調査

漁業経営体調査票Ⅱ (団体経営体用)

平成30年11月1日調査



政府統計

統計法に基づく国の
統計調査です。調査
票情報の秘密の保護
に万全を期します。

大海区	都府県 (振興局)	市区町村	漁業地区	調査区	漁業集落	客体番号
基本指標番号	:	:	:	:	:	:
市区町村名			漁業地区名		漁業集落名	

○ この調査票は、統計の作成目的以外には使用せず、得られた個々の結果についても、外に漏らしたり課税などの資料に利用することはなく、秘密を厳守することが法律により定められていますので、ありのままをご記入ください。

○ 記入に当たっては、「漁業経営体調査票Ⅱ（団体経営体用）の記入の仕方」をよく読んでください。

○ 黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

★ 数字は、1マスに1つずつ、枠からはみ出さないように右詰め（右側）で記入してください。

★ マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。

記入例

:	:	:	9	8	7	6	5	4	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

記入例

0	→	
---	---	--

つなげる すきまをあける

★ マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

記入例

11	2	3
----	---	---

悪い例

0	→		
---	---	--	--

○ 調査票の内容については、本年（平成30年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間について記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成29年11月1日から平成30年10月31日までの1年間について記入してください。

● 調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。

オンラインによる回答方法は、「オンライン調査システム操作ガイド」をご参照ください。

調査員がチェックをつけた該当ページについて、ご記入ください。

☐ 「会社」の方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2～11ページ

☐ 「共同経営」の方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2～9ページ

☐ 「漁業協同組合」「漁業生産組合」「その他」の方・・・・・・・・・・3～9ページ

会-I 事業所の概要

1 本所・支所の区分と会社の種類

それぞれ当てはまるもの一つに記入してください。

	本所・支所の区分			会社の種類	
	単独事業所	本所・本社	支所・支社	株式	その他
801	0	0	0	0	0

特例有限会社（旧制度の有限会社を含む。）は、株式会社に含みます。

2 11月1日現在の従業者数

漁業と漁業以外も含めたすべての従業者数を記入してください。

（本所・本社の場合は、支社・支所を含めた従業者数ではなく、本所・本社のみので従業者数を記入してください。）

	千	百	十	(人)
802	:	:	:	:

次のページへ →

共-I 共同経営について

共同経営とは、2経営体（法人を含みます。）以上で、漁船、漁網等の主要生産手段を共有し、共同で漁業経営を行うことをいいます。

1 出資金

現物出資を除く出資金について、当てはまるもの一つに記入してください。

出資金 現金 現物 なし 出資 した または みは	10 万 円 未 満	10 万 円 未 満	30 万 円 未 満	50 万 円 未 満	100 万 円 未 満	200 万 円 未 満	500 万 円 未 満	1,000 万 円 未 満	3,000 万 円 未 満	3,000 万 円 以上
	831	0	0	0	0	0	0	0	0	0

現物出資とは、漁船や漁網などの持ち寄りをいいます。

2 出資者の人数

出資金を出資した人と現物出資をした人の合計の人数を記入してください。

	千	百	十	(人)
832	:	:	:	:

次のページへ →

1 当てはまるもの一つに記入してください。

法人でない	法人である
851	0 0

2 法人の場合は、法人番号（13桁）の記入をお願いします。

852	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

法人番号を活用した統計の
精度向上及び効率化の取組に
使用させていただきます。
個人のマイナンバー（12桁）
を誤って記入しないようにご注
意ください。

I 漁業の従事者

1 漁業に従事した責任のある者（役員（支配人や代理を委任された人を含む。）に限る。）

過去1年間（平成29年11月1日～平成30年10月31日）に漁業に従事した人のうち、海上作業や陸上作業に責任のある者について記入してください。（役員以外の雇用者については、次ページに記入してください。）

本欄に記入するのは、経営主のほか、役員のうち、過去1年間に漁業（管理業務を含む。）に従事した方のみです。役員会に出席するだけの方は、記入する必要はありません。

経営主	海上作業において責任のある者（役員に限る。）						の陸上作業において責任のある者（役員に限る。）	性別		出生の年月				漁業従事日数 （陸上作業を含みます。）	うち、海上作業日数	海上作業日数が多かった漁業種類			10月下旬に海上作業に従事	陸上作業に従事								
	漁ろう長	船長	機関長	養殖場長	その他	男		女	該当する元号と年月を記入				1位			2位	3位											
									⑧	⑨	⑩	⑪																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯													
該当するすべてにマーク							いずれかにマーク	大	正	昭	和	平	成	年	月	（日）	（日）	全国漁業種類番号を記入			該当するすべてにマーク							
601	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	:	:	:	:	:	1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0
602	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	:	:	:	:	:	1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0
603	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	:	:	:	:	:	1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0
604	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	:	:	:	:	:	1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0
605	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	:	:	:	:	:	1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0
606	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	:	:	:	:	:	1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0
607	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	:	:	:	:	:	1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0
608	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	:	:	:	:	:	1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0
609	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	:	:	:	:	:	1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0
610	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	:	:	:	:	:	1	:	:	1	:	:	1	:	:	0	0

海上作業日数の数え方

- ・1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
- ・1航海が1夜の場合（夕方出港し、翌朝入港した場合）は1日とします。
- ・2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- ・なお、遊漁船業は含みません。

6ページの「全国漁業種類番号」で
当てはまる番号を記入してください。

2 海上作業に雇った人（3 ページの「1 漁業に従事した責任のある者」に記入した人を除く。）

(1) 11 月 1 日現在の海上作業に雇った人の有無を記入してください。雇った人がいる場合は、項目ごとにその人数を記入してください。

海上作業に雇った人がいない	201	0
海上作業に雇った人がいる		0

過去1年以内に漁業を始めた人とは、漁業で恒常的な収入を得ることを目的に主として漁業に従事した人で、以下のいずれかに該当する人です。

- ・新たに漁業を始めた人（過去に漁業に従事していて、再び漁業を始めた人を含む。）
- ・他の仕事为主であったが、漁業が主となった人（他の産業に従事等）

日本人	うち、過去1年以内に漁業を始めた人	外国人
①	②	③
千 百 十 (人)	千 百 十 (人)	千 百 十 (人)
211		

(3) (1) の日本人のうち、(2) の役職につく者を除いて、過去1年間に30日以上海上作業を行った人数を年齢別に記入してください。

		男	女
計	221		
15～19歳	222		
20～24歳	223		
25～29歳	224		
30～34歳	225		
35～39歳	226		
40～44歳	227		
45～49歳	228		
50～54歳	229		
55～59歳	230		
60～64歳	231		
65～69歳	232		
70～74歳	233		
75歳以上	234		

(1) の日本人のうち、役職につく者について記入

(1) の日本人のうち、役職につく者を除いて、30日以上海上作業を行った人を年齢別に記入

(2) (1) の日本人のうち、役職（漁ろう長、船長、機関長、養殖場長）につく者（雇用に限る。）について記入してください。

	役 職				性別		出生の年月		漁業従事 日数 (陸上作業を 含みます。)	うち、 海上作業 日数	海上作業日数が多かった漁業種類			陸上 作業に 従事								
	漁 ろ う 長	船 長	機 関 長	養 殖 場 長	男	女	該当する元号と年月を 記入				1 位	2 位	3 位									
							①	②							③	④	⑤	⑥				
																			該当するすべて に マ ー ク	いずれか にマーク	大 正	昭 和
651	0	0	0	0	0	0	0	0	:	:	:	:	1	:	:	1	:	:	1	:	:	0
652	0	0	0	0	0	0	0	0	:	:	:	:	1	:	:	1	:	:	1	:	:	0
653	0	0	0	0	0	0	0	0	:	:	:	:	1	:	:	1	:	:	1	:	:	0
654	0	0	0	0	0	0	0	0	:	:	:	:	1	:	:	1	:	:	1	:	:	0
655	0	0	0	0	0	0	0	0	:	:	:	:	1	:	:	1	:	:	1	:	:	0

3 陸上作業に雇った人数

過去1年間の漁業の陸上作業について、最盛期に雇った人数を記入してください。

計	241				
男	242				
女	243				

6ページの「全国漁業種類番号」で当てはまる番号を記入してください。

Ⅱ 漁船

- 1 過去1年間に漁業に**使用した漁船**について、**当てはまるものすべて**を記入してください。（借りた漁船を含みます。）
- また、漁業に**使用した漁船のうち、11月1日現在で保有している隻数**（借りている漁船を含み、貸している漁船は含みません。）を記入してください。

漁船を使用していない

漁船を使用した

301

0

0

使用していない場合は6ページへ進んでください。

使用した漁船をすべてマーク

11月1日現在で保有している漁船（隻）

1台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、1隻を船外機付漁船としてください。

無動力漁船

302

0

:

:

:

船外機付漁船

303

0

:

:

:

動力漁船

304

0

:

:

:

2 動力漁船【動力漁船についてのみ1隻ごとに記入してください。】

過去1年間に使用した漁船 （借りた漁船を含みます。）				11月1日現在で保有している漁船 （借りている漁船を含み、貸している漁船は含みません。）						
総トン数 （小数第1位まで記入し、小数第2位を切り下げてください。）		11月1日現在 保有している 保有していない		過去1年間の 出漁日数	出漁日数が多かった漁業種類			販売金額が多かった漁業種類		
①		②		③	1位	2位	3位	1位	2位	3位
④		⑤		⑥	⑦	⑧	⑨			
千 百 十（トン）		いずれかにマーク		それぞれの漁船ごとに日数を記入（日）	全 国 漁 業 種 類 番 号 を 記 入					
401	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
402	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
403	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
404	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
405	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
406	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
407	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
408	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
409	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
410	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:

平成30年11月1日現在において所有、借入れに関係なく、自らが管理運営している漁船については、「保有している」に記入してください。

出漁日数の数え方

- 1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
- 1航海が1夜の場合（夕方出港し、翌朝入港した場合）は1日とします。
- 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- なお、遊漁船業は含みません。

6ページの「全国漁業種類番号」で当てはまる番号を記入してください。

Ⅲ 漁業経営について

1 営んだ漁業種類

(1) 過去1年間に行った、すべての漁業種類について記入してください。

《 網 漁 業 》			《 はえ縄・釣・その他漁業 》			《 海面養殖(種苗養殖含む) 》						
全国漁業種類番号			全国漁業種類番号			全国漁業種類番号						
す営 べてに だもの マー ク			す営 べてに だもの マー ク			す営 べてに だもの マー ク						
底 び き 網	遠洋底びき網	101	0	は え 縄	遠洋まぐろはえ縄	120	0	魚 類 養 殖	ぎんざけ養殖	136	0	
	以西底びき網	102	0		近海まぐろはえ縄	121	0		ぶり類養殖	137	0	
	沖合底びき網 1 そうびき	103	0		沿岸まぐろはえ縄	122	0		まだい養殖	138	0	
	沖合底びき網 2 そうびき	104	0		その他のはえ縄	123	0		ひらめ養殖	139	0	
	小型底びき網	105	0		遠洋かつお一本釣	124	0		とらふぐ養殖	140	0	
船 び き 網			106	0	近海かつお一本釣	125	0	くろまぐろ養殖	141	0		
ま き 網	大 中 型 ま き 網	1そうまき遠洋 かつお・まぐろ	107	0	釣	沿岸かつお一本釣	126	0	殖	その他の魚類養殖	142	0
		1そうまき近海 かつお・まぐろ	108	0		遠洋いか釣	127	0		ほたてがい養殖	143	0
		1そうまき そ の 他	109	0		近海いか釣	128	0		かき類養殖	144	0
		2そうまき	110	0		沿岸いか釣	129	0		その他の貝類養殖	145	0
	中・小型まき網	111	0	ひき縄釣		130	0	くるまえび養殖		146	0	
刺 網	さけ・ます流し網	112	0	その他の釣	131	0	ほや類養殖	147	0			
	かじき等流し網	113	0	小型捕鯨	132	0	その他の水産動物類養殖	148	0			
	その他の刺網	114	0	潜水器漁業	133	0	こんぶ類養殖	149	0			
さんま棒受網			115	0	採貝・採藻	134	0	わかめ類養殖	150	0		
大型定置網			116	0	その他の漁業	135	0	のり類養殖	151	0		
さけ定置網			117	0				その他の海藻類養殖	152	0		
小型定置網			118	0				真珠養殖	153	0		
その他の網漁業			119	0				真珠母貝養殖	154	0		

3ページⅠの1「漁業に従事した責任のある者」、4ページⅠの2の(2)「役職につく者」、5ページⅡの2「動力漁船」及び7ページⅢの1の(2)「年間販売金額が多かった全国漁業種類番号」については、本ページの「全国漁業種類番号」を使用してください。

(2) 過去1年間に行ったすべての漁業種類のうち、販売金額の多かった順に3つを (1) の
 全国漁業種類番号 101 ~ 154 から選んで記入してください。

	1 位	2 位	3 位
	161	162	163
年間販売金額が多かった 全 国 漁 業 種 類 番 号	1 : : :	1 : : :	1 : : :

6ページの「全国漁業種類番号」で
 当てはまる番号を記入してください。

(3) 過去1年間の漁獲物・収獲物について、魚種別の販売金額の多かった順に3つを 下表
 の魚種番号 01 ~ 36 から選んで記入してください。

	1 位	2 位	3 位
	171	172	173
年間販売金額が多かった 魚 種 番 号	: : :	: : :	: : :

表 魚種番号

名 称	番号	名 称	番号	名 称	番号	名 称	番号
く ろ ま ぐ ろ	01	ひ ら め ・ か れ い 類	10	い か な ぞ	19	ほ た て が い	28
かつお・まぐろ類 (くろまぐろを除く)	02	す け と う だ ら	11	ふ ぐ 類	20	そ の 他 の 貝 類	29
か じ き 類	03	そ の 他 た ら 類	12	そ の 他 の 魚 類	21	い か 類	30
さ け ・ ま す 類	04	ほ っ け	13	い せ え び	22	た こ 類	31
い わ し 類	05	あ な ご 類	14	そ の 他 の え び 類	23	う に 類	32
あ じ 類	06	た ち う お	15	ず わ い が に ・ べ に ず わ い が に	24	な ま こ 類	33
さ ば 類	07	た い 類	16	そ の 他 の か に 類	25	こ ん ぶ 類	34
さ ん ま	08	い さ き	17	あ わ び 類 ・ さ ざ え	26	そ の 他 の 海 藻 類	35
ぶ り 類	09	さ わ ら 類	18	あ さ り 類	27	そ の 他	36

2 地方選定漁業種類について
 過去1年間で地方選定漁業種類の漁業を行った場合、
 そのすべての漁業種類について記入してください。

地方選定漁業種類が記載されてい
 ない場合、マークは不要です。

地方選定漁業種類	該 マ ー ク に
種 類 名	番 号
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0

地方選定漁業種類	該 マ ー ク に
種 類 名	番 号
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0

地方選定漁業種類	該 マ ー ク に
種 類 名	番 号
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0

3 海面養殖業 (陸上に設置した水槽に海水を入れ養殖をする場合は、海面養殖に含めます。)

11月1日現在の養殖の状況について記入してください。

(1) 魚類養殖

養殖場の施設面積と使用している面積（魚類を放養しない面積は除きます。）を記入してください。

借りている施設の
面積も含めます。

養殖場の施設面積

うち、使用している面積

百万 十万 万 千 百 十 (㎡) 百万 十万 万 千 百 十 (㎡)

魚類養殖の合計 511

うち、ぶり類 512

うち、まだい 513

うち、ひらめ 514

うち、陸上水槽 515

うち、とらふぐ 516

うち、陸上水槽 517

うち、くろまぐろ 518

(2) ほたてがい養殖

当てはまる養殖方法に記入
してください。ア いかだ垂下式、簡易垂下式
台数と1台の平均面積を記
入してください。

万 千 百 十 (台)

台 数 521

万 千 百 十 (㎡)

平 均
面 積 522

イ はえ縄

幹縄（海面に水平に張って
垂下連を支える縄（ロープ）
の長さ）を記入してください。

百万 十万 万 千 百 十 (m)

523

(3) かき類養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式

台数と1台の平均面積を記入
してください。

百万 十万 万 千 百 十 (台)

台 数 531

百万 十万 万 千 百 十 (㎡)

平 均
面 積 532

イ はえ縄

幹縄（海面に水平に張っ
て垂下連を支える縄（ロー
プ）の長さ）を記入してく
ださい。

百万 十万 万 千 百 十 (m)

533

ウ 地まき式、そだひび式
養殖している養殖場の
面積を記入してください。

百万 十万 万 千 百 十 (㎡)

534

(4) わかめ類養殖

幹縄（海面に水平に張って種糸を支える
縄（ロープ）の長さ）を記入してください。

百万 十万 万 千 百 十 (m)

541

(5) のり類養殖

施設の面積を平方メートル単位で記入して
ください。(養殖施設の面積には潮通し、船通しは含みません。
面積は、真上からみた養殖施設の面積とし、何枚重ね張り
しても1枚の網ひびの面積としてください。)

百万 十万 万 千 百 十 (㎡)

551

(6) 真珠養殖

いかだ台数を記入してください。
(かご100つりを1台としてください。)

百万 十万 万 千 百 十 (台)

561

(7) 真珠母貝養殖

いかだ台数を記入してください。
(かご100つりを1台としてください。)

百万 十万 万 千 百 十 (台)

562

4 過去1年間の漁獲物・収穫物の販売金額（消費税を含む。）について、**当てはまるもの一つに**記入してください。

養殖を行っていない場合は、「うち、海面養殖」の販売金額なしを記入してください。

	販売金額なし	100万円未満	100万円～300万円未満	300万円～500万円未満	500万円～800万円未満	800万円～1,000万円未満	1,000万円～1,500万円未満	1,500万円～2,000万円未満	2,000万円～5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1億円～2億円未満	2億円～5億円未満	5億円～10億円未満	10億円以上
販売金額	571	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち、海面養殖	572	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

「10億円以上」の場合は、金額も記入してください。
 千億 百億 十億（億円）

573 : : : :
 574 : : : :

四捨五入して億円単位で記入してください。

5 過去1年間の**すべての漁獲物・収穫物の出荷先**に記入してください。
 また、**出荷額の最も多かった出荷先一つ**に記入してください。

	漁業協同組合 または荷さばき所	漁業協同組合 以外の卸売市場	流通業者 加工業者	小売業者・生協	外食産業	消費者に直接販売 自営の水産物直売所	消費者に直接販売 その他の方法	その他
出荷先 （該当すべてにマーク）	581	0	0	0	0	0	0	0
出荷額の最も多かった出荷先 （一つにマーク）	582	0	0	0	0	0	0	0

消費者に直接販売には、自ら生産した水産物またはそれを使用した加工品を消費者に直接販売しているものが該当します。

自営の水産物直売所には、団体経営体自らが運営する直売所が該当します。

その他の水産物直売所には、共同で運営している直売所または他の人が運営している直売所が該当します。

他の方法には、移動販売（行商）等のほか、インターネットや電話等により消費者から直接受注し、販売した場合が該当します。

Ⅳ 漁業以外の事業について

過去1年間に行った漁業以外の事業について、**当てはまるものすべてに**記入してください。
 また、**漁家民宿の過去1年間の延べ宿泊者数**を記入してください。

	行っていない	水産物の加工	漁家民宿	漁家レストラン	遊漁船業	農業	小売業	その他
591	0	0	0	0	0	0	0	0

漁家民宿の延べ宿泊者数
 万 千 百 十（人）

592 : : : :

「会社」以外の方の調査は以上で終わりです。
 ご協力ありがとうございました。
 「会社」の方は次ページへ。

「会社」の方で2ページの本所・支所の区分が「本所・本社」及び「単独事業所」の場合に記入してください。

会-II 支所・支社も含めた会社全体について

1 支所・支社も含めた会社全体の従業者数

支所・支社も含めた**会社全体の従業者数**を記入してください。

		十	万	千	百	十	(人)
計	803	・	・	・	・	・	・
常時従業者	804	・	・	・	・	・	・
うち、雇用者	805	・	・	・	・	・	・
その他	806	・	・	・	・	・	・

常時従業者とは、実務にたずさわらない事業主、他の会社等へ出向・派遣している人及び研修生を含まない、次の①～④のいずれかに該当する人をいいます。

- ① 個人事業主及び無給の家族従事者
- ② 有給の役員（役員報酬の賃金・給与体系の人）
- ③ 雇用者（賃金・給与（現物給与を含む。）を支給されている人）
 - ・ 役員の肩書きがあるものの、役員報酬ではなく、雇用者と同じ賃金・給与体系の人
 - ・ 期間を定めずに従事している人
 - ・ 1か月以上の期間を定めて従事している人
- ④ 出向・派遣受入者
 - ・ 1か月以上の期間を定めて従事している人

雇用者とは、常時従業者のうち③の「雇用者」に該当する人をいいます。

その他とは、常時従業者以外の従業者をいいます。

- ・ 1か月未満の期間を定めて雇用されている人
- ・ 日々雇用（日雇い）されている人、など

2 資本金

当てはまるもの一つに記入してください。

（ 株式会社については払込済み資本金の金額、その他については出資金の金額で当てはまるもの一つに記入してください。）

	100万円未満	100万円～200万円未満	200万円～500万円未満	500万円～1,000万円未満	1,000万円～3,000万円未満	3,000万円～5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1億円～10億円未満	10億円以上
807	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 漁業の専業・兼業

- (1) 過去1年間に行った事業が**漁業のみの場合**は「**専業**」、**他の事業も行った場合は「兼業」**に記入してください。

	兼業	専業
808	0	0

専業の場合は、(2)～(4)の記入は必要ありません。

4 事業別の子会社数

事業別に**子会社数**を記入してください。

(会社)

漁業		821	：	：
製造業	水産加工業	822	：	：
	その他	823	：	：
卸売・小売業、飲食業		824	：	：
サービス業		825	：	：
その他	冷蔵倉庫業	826	：	：
	その他	827	：	：

- (2) 過去1年間の総販売金額に占める漁業部門の割合について、**当てはまるもの一つ**に記入してください。

	25%未満	25～50%未満	50～75%未満	75%以上
809	0	0	0	0

調査は以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。

- (3) 過去1年間に**漁業以外に行ったすべての事業の事業所**の数を記入してください。
そのうち、**販売金額が最も多かったもの一つ**に記入してください。

			事業所の数	販売金額が最も多かったもの一つにマーク	
製造業	水産加工業	811	:	:	0
	その他	812	:	:	0
卸売・小売業、飲食業		813	:	:	0
サービス業		814	:	:	0
その他	冷蔵倉庫業	815	:	:	0
	その他	816	:	:	0

- (4) **自社用の冷凍・冷蔵工場数**を記入してください。(寄託品を取り扱わない自社用の水産物を保存する冷凍・冷蔵工場数)

(工場)

817	:	:
-----	---	---



秘

農 林 水 産 省

統計法に基づく基幹統計調査

漁業構造統計

2018年漁業センサス

海面漁業調査

海面漁業地域調査票

平成30年11月1日調査

	大海区	都府県 (振興局)	市区町村	漁業地区	客体番号
基本指標番号	□ □ □ □	□ □ □ □	□ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □ □ □

市区町村名

漁業地区名

- この調査は、全国の漁業地区の資源管理・漁場改善の取組や活性化の取組等を把握し、水産業施策に必要な基礎資料の整備を目的としています。
調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。
- 記入に当たっては、「海面漁業地域調査票の記入の仕方」をよく読んでください。
- **黒色の鉛筆**または**シャープペンシル**で記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

- ★ 数字は、1マスに1つずつ、枠からはみ出さないように**右づめ**で記入してください。

- ★ マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。

~~記入例~~

9 8 7 6 5 4 0

記入例

10



つなげる すきまをあける

- ★ マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

記入例

11 2 3

悪い例

10



110

- 調査票の内容については、平成29年11月1日から平成30年10月31日までの過去1年間について記入してください。

- 調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。

オンラインによる回答方法は、「オンライン調査システム操作ガイド」をご参照ください。

漁業地区とは、市区町村の区域内において、共通の漁業条件及び共同漁業権を中心とした地先漁業の利用等に係る社会経済活動の共通性に基づいて漁業が行われる地区をいいます。

I 資源管理・漁場改善の取組

- 1 過去1年間（平成29年11月1日～平成30年10月31日）に漁業地区において漁業協同組合が行った資源管理・漁場改善の取組について、取組ごと（資源管理計画、漁場改善計画、その他）に記入してください。

名 称	取 組 区 分			参加漁業経営体数	対象とした漁業資源														
	資源管理計画	漁場改善計画	その他		魚 類					えび類	かに類	貝類			その	の			
					さけ・ます類	ひらめ	かれい類	たい類 まだい	その他の魚類 その他のたい類	いせえび その他のえび類	がざみ類 その他のかに類	あわび類	さざえ	あさり類	その他の貝類	いか類	たこ類	うに類	
																			③
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱		
名 称 を 記 入	いずれか一つにマーク			参加経営体数を記入					該当するすべてにマーク										
101																			
102																			
103																			
104																			
105																			
106																			
107																			
108																			
109																			
110																			
111																			
112																			
113																			
114																			
115																			

- 2 過去1年間に漁業地区において漁業協同組合が遊漁関係団体と連携した取組を行った場合は、当てはまるものすべてに記入してください。

取組あり	0
取組なし	0

該当するすべてにマーク

202

Ⅱ 漁業地区の会合・集会等の開催状況

過去1年間に漁業協同組合本所・支所が関係する会合・集会等が開催されましたか。
開催があった場合は、「ある（回数）」欄に開催回数を記入し、その議題について、
当てはまるものすべてに記入してください。

会合・集会等の開催 (いずれかに記入)		会合・集会等の議題（該当するものすべてにマーク）							
な	あ	特定区画漁業権・ 共同漁業権の変更	企業参入	漁業権放棄	漁業補償	地元地区の共用財産 共有施設の管理	自然環境の保全	地元地区の行事 (祭り・イベント等)	その他
し	る								
301	302	303	304	305	306	307	308	309	310
0	:	0	0	0	0	0	0	0	0

会合・集会等の開催があった場合 →

会合・集会等の開催がなかった場合は次に進んでください

Ⅲ 活性化の取組

- 1 過去1年間に漁業協同組合本所・支所が関係する活動のうち、当該漁業地区で**実施したものすべて**に記入してください。

関係する活動（該当するものすべてにマーク）						左記の活動は実施していない
新規漁業就業者 後継者を確保する取組	ゴミ(海岸・ 海上・海底)の清掃活動	6次産業化への取組	ブルー・ツーリズムの取組	水産に関する伝統的な 祭り・文化・芸能の保存	その他の各種イベントの開催	
311	312	313	314	315	316	317
0	0	0	0	0	0	0

- 2 過去1年間に漁業協同組合本所・支所が行った都市との交流活動の取組のうち、当該漁業地区で実施した取組の**参加人数**を記入してください。

		参 加 人 数					
		十	万	千	百	十	(人)
漁 業 体 験	321	:	:	:	:	:	:
魚 食 普 及 活 動	322	:	:	:	:	:	:
そ の 他	323	:	:	:	:	:	:

漁業体験と魚食普及活動を一体的に実施した場合には、それぞれに同じ人数を記入してください。

- 3 漁業協同組合の運営する水産物直売所のうち、当該漁業地区の**施設数**及び過去1年間の**利用者数**（来場者数）について記入してください。

		施設数 (施設)	年 間 利 用 者 数							
			百	万	十	万	千	百	十	(人)
水産物直売所	331	:	:	:	:	:	:	:	0	0

調査は以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。

秘
農 林 水 産 省

統計法に基づく基幹統計調査
漁業構造統計

2018年漁業センサス 内水面漁業調査



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

内水面漁業経営体調査票Ⅰ (個人経営体用)

平成30年11月1日調査

都府県 (振興局)	市区町村	漁業地域	調査区	漁業集落	客体番号	市区町村名	漁業地域名
基本指標番号	:	:	:	:	:	:	:

○ この調査票は、統計の作成目的以外には使用せず、得られた個々の結果についても、外に漏らしたり課税などの資料に利用することはなく、秘密を厳守することが法律により定められていますので、ありのままをご記入ください。

○ 記入に当たっては、「内水面漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）の記入の仕方」をよく読んでください。

○ 黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

★ 数字は、1マスに1つずつ、枠からはみ出さないように右詰めで記入してください。

★ マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。

記入例 : : : 9 8 7 6 5 4 0

記入例 0 → ●

つなげる すきまをあける

★ マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

記入例 11 2 3

悪い例 0 → ✓ 0

○ 調査票の内容については、本年（平成30年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間について記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成29年11月1日から平成30年10月31日までの1年間について記入してください。

● 調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。

オンラインによる回答方法は、「オンライン調査システム操作ガイド」をご参照ください。

チェックをつけた該当ページについて、ご記入ください。

- ☐ 湖沼漁業（採捕）のみを行っている方・・・・・・・・・・2～6ページ
- ☐ 養殖業のみを行っている方・・・・・・・・・・2～3、7～9ページ
- ☐ 湖沼漁業と養殖業を行っている方・・・・・・・・・・2～9ページ

I 世帯について

0402

1 世帯員すべての人数

11月1日現在の世帯員の人数を記入してください。

		(人)			
		すべての世帯員		うち、満14歳以下の世帯員	
男	701	:	:	:	:
女	702	:	:	:	:

4 漁業を行った人

満15歳以上の世帯員（平成15年10月31日までに生まれた人）のうち、過去1年間（平成29年11月1日～平成30年10月31日）に漁業を行った人を漏れなく記入してください。

住居を異にしており、生計を共にしていない人や、住居は共にしているが、生計を共にしていない人については、記入しないでください。

経営主とは、自家漁業の経営に責任を持つ人や、経営の意思決定を行う人です。

経営主との続柄		性別		出生の年月					
		男	女	該当する元号と出生の年月を記入					
①		②		③					
続柄番号を記入		いずれかにマーク		大正	昭和	平成	年	月	
01 : 経営主	731	0	1	0	0	0	:	:	:
02 : 経営主の配偶者	732	:	:	0	0	0	:	:	:
03 : 子（満15歳以上）	733	:	:	0	0	0	:	:	:
04 : 子の配偶者	734	:	:	0	0	0	:	:	:
05 : 経営主の父母	735	:	:	0	0	0	:	:	:
06 : 経営主の配偶者の父母	736	:	:	0	0	0	:	:	:
07 : 兄弟姉妹	737	:	:	0	0	0	:	:	:
08 : 祖父母	738	:	:	0	0	0	:	:	:
09 : 孫（満15歳以上）									
10 : 孫の配偶者									
11 : その他（上記以外）									

4ページ上部に記載された湖沼において、自家漁業（採捕または養殖）をしている方は、湖沼漁業欄を記入してください。

また、自家において内水面養殖をしている方は、養殖業欄を記入してください。

湖上作業 : 漁船の航行、漁ろう作業、定置網の網の張り立て、採貝・採藻、湖沼養殖にかかる作業等

陸上作業 : 真珠養殖の施術作業、貝のむき身作業、漁船・漁網等の修理、出荷、経理・計算事務等

養殖業の作業 : 給餌、選別、養殖池の管理、出荷、経理・計算事務等、養殖にかかるすべての作業

2 世帯としての収入

世帯としての収入は、自家漁業と自家漁業以外の仕事でどちらが多かったですか。
 当てはまるものに記入してください。

自家漁業の収入のみ		711	0
自家漁業以外の収入があった	自家漁業の収入が多かった		0
	自家漁業以外の収入が多かった (不動産による収入を含み、年金は含みません。)		0

自家漁業には、共同経営や雇われは含みません。

3 自家漁業の後継者の有無

当てはまるものに記入してください。

721	いる	いない
	0	0

後継者とは、過去1年間に漁業を行った人のうち、将来自家漁業の経営主になる予定の人をいいます。
 調査日現在(11月1日)、自家漁業を行っていない人でもかまいません。

過去1年間にした仕事														経営主としても経営方針の決定に関与している
自家漁業			自家の湖上作業と養殖業の作業日数	自家漁業以外の自営業	共同経営の漁業の仕事	雇われて漁業の仕事	雇われて漁業以外の仕事	過去1年以内に漁業を始めた人	日数が最も多かった仕事	日数が多かった方		下の当てはまる番号を記入	いずれかにマーク	
湖沼漁業	養殖業									自家漁業	他の仕事			
	湖上作業	陸上作業												
④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	
該当するすべてにマーク			該当する人に日数を記入(日)	該当するすべてにマーク					下の当てはまる番号を記入	いずれかにマーク		該当にマーク		
0	0	0	:	:	:	0	0	0	:	0	0	:		
0	0	0	:	:	:	0	0	0	:	0	0	:	0	
0	0	0	:	:	:	0	0	0	:	0	0	:	0	
0	0	0	:	:	:	0	0	0	:	0	0	:	0	
0	0	0	:	:	:	0	0	0	:	0	0	:	0	
0	0	0	:	:	:	0	0	0	:	0	0	:	0	
0	0	0	:	:	:	0	0	0	:	0	0	:	0	
0	0	0	:	:	:	0	0	0	:	0	0	:	0	

過去1年間で次のいずれかの決定に参画した人(経営主を除く。)に記入してください。
 ・漁業種類の選定・操業計画
 ・養殖種類の選定・規模
 ・出荷先
 ・資金調達
 ・漁船装備・養殖施設などの投資
 ・雇用の決定・管理

作業日数の数え方

- ・1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
- ・1日のうち湖上作業と養殖業の両方の作業を行っても1日と数えます。
- ・なお、海面及び河川の漁業は含みません。

⑬日数が最も多かった仕事

- 1 : 自家漁業
- 2 : 自家漁業以外の自営業
- 3 : 共同経営の漁業の仕事
- 4 : 雇われて漁業の仕事
- 5 : 雇われて漁業以外の仕事

Ⅱ 湖沼漁業

以下の湖沼において、漁業（採捕または養殖）を行っている場合は、このページから記入してください。

※ 農林水産大臣が定める当該都道府県の湖沼名を記載

- 1 過去1年間に湖上作業に雇った人の有無を記入してください。雇った人がいる場合は、実人数を年齢別に記入してください。

湖上作業に雇った人がいない	201	0
湖上作業に雇った人がいる		0

雇った人がいる場合
湖上作業に雇った人を年齢別に記入

(人)

ここでは2ページの世帯員ではなく
「雇った人数」を記入してください。

湖上作業に雇った人とは、漁船の航行、漁ろう
作業、定置網の網の張り立て、採貝・採藻、湖沼養
殖にかかる作業等のために雇った人をいいます。

		男			女		
計	211	・	・	・	・	・	・
15～19歳	212	・	・	・	・	・	・
20～24歳	213	・	・	・	・	・	・
25～29歳	214	・	・	・	・	・	・
30～34歳	215	・	・	・	・	・	・
35～39歳	216	・	・	・	・	・	・
40～44歳	217	・	・	・	・	・	・
45～49歳	218	・	・	・	・	・	・
50～54歳	219	・	・	・	・	・	・
55～59歳	220	・	・	・	・	・	・
60～64歳	221	・	・	・	・	・	・
65～69歳	222	・	・	・	・	・	・
70～74歳	223	・	・	・	・	・	・
75歳以上	224	・	・	・	・	・	・

- 2 過去1年間に湖上作業を行った日数を記入してください。

湖上作業を行った日数の数え方

- 世帯員または雇用者が1人で湖上作業を行った場合は、その日数を記入します。
- 1日のうちに、2人以上の世帯員及び雇用者が、一緒または別々に湖上作業を行っても1日と数えます。

(日)

231

3 漁船

過去1年間に湖沼漁業に**使用した漁船**について、**当てはまるものすべて**を記入してください。
(借りた漁船を含みます。)

また、湖沼漁業に**使用した漁船のうち、平成30年11月1日現在で持っている隻数**(借りている漁船を含み、貸している漁船は含みません。)を記入してください。

漁船を使用していない	241	0
漁船を使用した		0

↓

		使用した漁船をすべてマーク	使用した動力漁船の合計トン数を記入 (トン)	11月1日現在で持っている漁船の隻数 (隻)
無動力漁船	242	0		:
船外機付漁船	243	0		:
動力漁船	244	0		:

1台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、1隻を船外機付漁船としてください。

小数第1位まで記入し、小数第2位を切り捨ててください。

平成30年11月1日現在において所有、借入れに関係なく、自らが管理運営している漁船については、「保有している」に記入してください。

4 漁業種類

過去1年間に、湖沼漁業において行った、**すべての漁業種類**について記入してください。
また、全国共通漁業種類において、**販売金額が最も多かったもの一つ**に記入してください。

			営んだものすべてにマーク	販売金額が最も多かったものにマーク	営んだものすべてにマーク	
全国共通漁業種類	網漁業	底びき網・船びき網	251	0	0	地方選定漁業種類
		刺網	252	0	0	
		定置網	253	0	0	
		投網	254	0	0	
		その他の網漁業	255	0	0	
	その他の漁業	釣・はえ縄	256	0	0	
		採貝・採藻	257	0	0	
		籠	258	0	0	
		その他の漁業	259	0	0	
		養殖業	260	0	0	
		その他の養殖	261	0	0	

地方選定漁業種類が記載されていない場合、マークは不要です。

5 魚種

過去1年間に漁獲（湖沼養殖の収穫物を含む。）したものすべてを記入してください。
また、全国共通魚種において、販売金額が最も多かったものにマーク

			漁獲したもの すべてにマーク	販売金額が最も 多かったものにマーク			漁獲したもの すべてにマーク
全 国 共 通 魚 種	魚 類	こ い 271	0	0	地 方 選 定 魚 種		0
		ふ な 272	0	0			0
		あ ゆ 273	0	0			0
		うぐい・おいかわ 274	0	0			0
		わかさぎ 275	0	0			0
		さけ・ます類 276	0	0			0
		しらうお 277	0	0			0
		うなぎ 278	0	0			0
		はぜ類 279	0	0			0
		その他の魚類 280	0	0			0
	貝 類	しじみ 281	0	0			0
		その他の貝類 282	0	0			0
		えび類 283	0	0			0
		その他の水産動物類 284	0	0			0
	水 産 動 物 類	その他 285	0	0			0
					0		

地方選定魚種が記載されていない場合、マークは不要です。

6 過去1年間の漁獲物（湖沼養殖の収穫物を含む。）の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまるもの一つに記入してください。

販売金額なし	10万円未満	10万円～30万円未満	30万円～50万円未満	50万円～100万円未満	100万円～300万円未満	300万円～500万円未満	500万円～1,000万円未満	1,000万円以上
291	0	0	0	0	0	0	0	0

四捨五入して千万円単位で記入してください。

「1,000万円以上」の場合は、金額も記入してください。

百億	十億	億	千万円
292	:	:	:

養殖業を行った方は、次のページへ
養殖業を行っていない方は、ここで終了です。
ご協力ありがとうございました。

Ⅲ 養殖業

湖沼またはその他の内水面において、養殖を行っている場合は記入してください。

- 1 過去1年間に養殖業に雇った人の有無を記入してください。雇った人がいる場合は、実人数を年齢別に記入してください。

養殖業に雇った人がいない	301	0
養殖業に雇った人がいる		0

雇った人がいる場合
養殖業に雇った人を年齢別に記入

(人)

ここでは2ページの世帯員ではなく
「雇った人数」を記入してください。

養殖業に雇った人とは、給餌、選別、養殖池
の管理、出荷、経理・計算事務等、養殖にかかる
すべての作業のために雇った人をいいます。

		男			女		
計	311	・	・	・	・	・	・
15～19歳	312	・	・	・	・	・	・
20～24歳	313	・	・	・	・	・	・
25～29歳	314	・	・	・	・	・	・
30～34歳	315	・	・	・	・	・	・
35～39歳	316	・	・	・	・	・	・
40～44歳	317	・	・	・	・	・	・
45～49歳	318	・	・	・	・	・	・
50～54歳	319	・	・	・	・	・	・
55～59歳	320	・	・	・	・	・	・
60～64歳	321	・	・	・	・	・	・
65～69歳	322	・	・	・	・	・	・
70～74歳	323	・	・	・	・	・	・
75歳以上	324	・	・	・	・	・	・

2 養殖種類

(1) 過去 1 年間に養殖したすべての養殖種類別に施設面積、使用面積を記入してください。
また、全国共通養殖種類において、販売金額が最も多かったものに記入してください。

面積の単位換算

1 町＝約 10,000 m² 1 坪＝約 3.3 m²
1 反＝約 1,000 m² 1 アール＝100 m²
1 畝＝約 100 m²

			施設面積						使用面積						販売金額が最も多かったものにマーク		
			百万	十万	万	千	百	十	(m ²)	百万	十万	万	千	百		十	(m ²)
全国共通養殖種類	食	にじます	331	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
		その他ます類	332	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
	用	あゆ	333	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
		こい	334	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
		ふな	335	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
		うなぎ	336	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
		すっぽん	337	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
		海水魚種（ひらめ等）	338	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
		その他	339	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
		ます類	340	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
	苗	あゆ	341	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
		こい	342	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
		その他	343	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
		観賞用	344	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
	類	錦ごい	345	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
		その他	346	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
真	珠	346	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0	

「観賞用その他」には、「きんぎょ」、「めだか」や「みどりがめ」等の「錦ごい」以外の観賞用のものが含まれます。

(2) 過去 1 年間に養殖した地方選定養殖種類すべてを記入してください。

地方選定養殖種類が記載されていない場合、マークは不要です。

地方選定養殖種類	養殖したものにすべてマーク
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0

3 養殖方法

過去1年間に養殖したすべての養殖方法別に**養殖池数**、**養殖面積**を記入してください。
また、販売金額が**最も多かったもの一つ**に記入してください。

		養殖池数 (網いけす 数、養殖池 の区画数)	養 殖 面 積							販売金額 が最も多 かった ものに マーク
		百 十 (面)	百万	十万	万	千	百	十 (㎡)		
池 中 養 殖	止 水 式	351	.	.	.	.	.	.	0	
	流 水 式	352	.	.	.	.	.	.	0	
	循 環 式	353	.	.	.	.	.	.	0	
ため池養殖		354	.	.	.	.	.	.	0	
網いけす養殖		355	.	.	.	.	.	.	0	
そ の 他 養 殖		356	.	.	.	.	.	.	0	

真珠養殖の場合は、「養殖池数」の欄に区画漁業権の数を記入してください。

【面積の記入の注意】

施設面積については、所有（借入を含む。）するすべての養殖施設面積を記入してください。

養殖面積については、**施設面積**のうち、養成池、稚魚池、収穫時の補助池等、魚類の放養が可能な養殖池の面積を記入してください。（水質浄化用の沈殿池や濾過池等は除きます。）

使用面積については、**養殖面積**のうち、通常使用している（魚類を放養している。）面積を記入してください。

4 過去1年間の収穫物（養殖業）の販売金額（消費税を含む。）について、**当てはまるもの一つ**に記入してください。

販売金額なし	10万円未満	10万円～30万円未満	30万円～50万円未満	50万円～100万円未満	100万円～300万円未満	300万円～500万円未満	500万円～1,000万円未満	1,000万円～2,000万円未満	2,000万円～5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1億円以上
361	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

千億	百億	十億		
362	.	.	.	.

億円

四捨五入して億円単位で記入してください。

「1億円以上」の場合は、金額も記入してください。

調査は以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。

秘
農 林 水 産 省
統計法に基づく基幹統計調査
漁 業 構 造 統 計

2018年漁業センサス
内水面漁業調査



政府統計

統計法に基づく国の
統計調査です。調査
票情報の秘密の保護
に万全を期します。

内水面漁業経営体調査票Ⅱ
(団体経営体用)

平成30年11月1日調査

都府県 (振興局)	市区町村	漁業地域	調査区	漁業集落	客体番号	市区町村名	漁業地域名
基本指標番号	:	:	:	:	:	:	:

- この調査票は、統計の作成目的以外には使用せず、得られた個々の結果についても、外に漏らしたり課税などの資料に利用することはなく、秘密を厳守することが法律により定められていますので、ありのままをご記入ください。
- 記入に当たっては、「内水面漁業経営体調査票Ⅱ（団体経営体用）の記入の仕方」をよく読んでください。
- 黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

★ 数字は、1マスに1つずつ、枠からはみ出さないように右詰め（右側）で記入してください。

★ マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。

記入例

:	:	9	8	7	6	5	4	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---

記入例

0	→	●
---	---	---

つなげる すきまをあける

★ マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

記入例

11	2	3
----	---	---

悪い例

0	→	✓	○
---	---	---	---

- 調査票の内容については、本年（平成30年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間について記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成29年11月1日から平成30年10月31日までの1年間について記入してください。

- 調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。
オンラインによる回答方法は、「オンライン調査システム操作ガイド」をご参照ください。

チェックをつけた該当ページについて、ご記入ください。

- ☐ 湖沼漁業（採捕）のみを行っている方・・・2～4ページ
- ☐ 養殖業のみを行っている方・・・2、5～7ページ
- ☐ 湖沼漁業と養殖業を行っている方・・・2～7ページ

I 共通

1 当てはまるもの一つに記入してください。

	法人でない	法人である
801	0	0

法人の場合

2 法人の場合は、法人番号（13桁）の記入をお願いします。

802	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

法人番号を活用した統計の精度向上及び効率化の取組に使用させていただきます。
個人のマイナンバー（12桁）を誤って記入しないようご注意ください。

II 湖沼漁業

以下の湖沼において、漁業（採捕または養殖）を行っている場合は、このページから記入してください。

※ 農林水産大臣が定める当該都道府県の湖沼名を記載

1 過去1年間（平成29年11月1日～平成30年10月31日）の湖上作業の従事者について、年齢別に実人数を記入してください。（人）

		男	女
計	211		
15～19歳	212		
20～24歳	213		
25～29歳	214		
30～34歳	215		
35～39歳	216		
40～44歳	217		
45～49歳	218		
50～54歳	219		
55～59歳	220		
60～64歳	221		
65～69歳	222		
70～74歳	223		
75歳以上	224		

湖上作業の従事者とは、漁船の航行、漁労作業、定置網の網の張り立て、採貝・採藻、湖沼養殖にかかる作業等を行った人を含みます。

2 過去1年間に湖上作業を行った日数を記入してください。（日）

231	:	:	:
-----	---	---	---

3 漁船

過去1年間に湖沼漁業に**使用した漁船**について、**当てはまるものすべて**を記入してください。
(借りた漁船を含みます。)

また、湖沼漁業に**使用した漁船のうち**、平成30年11月1日現在で保有している隻数（借りている漁船を含み、貸している漁船は含みません。）を記入してください。

漁船を使用していない	241	0
漁船を使用した		0

1台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、1隻を船外機付漁船としてください。

		使用した漁船をすべてマーク	使用した動力漁船の合計トン数を記入 (トン)	11月1日現在で保有している漁船の隻数 (隻)
無 動 力 漁 船	242	0		:
船 外 機 付 漁 船	243	0		:
動 力 漁 船	244	0	.	:

（小数第1位まで記入し、小数第2位を切り捨ててください。）

↑ 小数点

平成30年11月1日現在において所有、借入れに関係なく、自らが管理運営している漁船については、「保有している」に記入してください。

4 漁業種類

過去1年間に、湖沼漁業において行った、**すべての漁業種類**について記入してください。
また、全国共通漁業種類において、**販売金額が最も多かったものの一つ**に記入してください。

SAMPLE

		営んだものすべてにマーク	販売金額が最も多かったものにマーク
全 国 共 通 漁 業 種 類	底 び き 網 ・ 船 び き 網	251	0 0
	刺 網	252	0 0
	定 置 網	253	0 0
	投 網	254	0 0
	そ の 他 の 網 漁 業	255	0 0
	釣 ・ は え 縄	256	0 0
	採 貝 ・ 採 藻	257	0 0
	籠 類	258	0 0
	そ の 他 の 漁 業	259	0 0
	養 殖 業		
魚 類 養 殖	260	0 0	
そ の 他 の 養 殖	261	0 0	

地方選定漁業種類が記載されていない場合、マークは不要です。

		営んだものすべてにマーク
地 方 選 定 漁 業 種 類		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0

5 魚種

過去1年間に漁獲（湖沼養殖の収穫物を含む。）したものすべてを記入してください。
また、全国共通魚種において、販売金額が最も多かったものにマークしてください。

				漁獲したもの すべてにマーク	販売金額が最も 多かったものにマーク					漁獲したもの すべてにマーク	
全 国 共 通 魚 種	魚 類	こ	い	271	0	0	地 方 選 定 魚 種				0
		ふ	な	272	0	0					0
		あ	ゆ	273	0	0					0
		うぐい・おいかわ	274	0	0					0	
		わかさぎ	275	0	0					0	
		さけ・ます類	276	0	0					0	
		しらうお	277	0	0					0	
		うなぎ	278	0	0					0	
		はぜ類	279	0	0					0	
		その他の魚類	280	0	0					0	
	貝 類	しじみ	281	0	0				0		
		その他の貝類	282	0	0				0		
		水産動物類	えび類	283	0	0				0	
			その他の水産動物類	284	0	0				0	
		その他	285	0	0				0		

地方選定魚種が記載されていない場合、マークは不要です。

6 過去1年間の漁獲物（湖沼養殖の収穫物を含む。）の販売金額（消費税を含む。）について、
当てはまるものに記入してください。

販売金額なし	10万円未満	10万円～30万円未満	30万円～50万円未満	50万円～100万円未満	100万円～300万円未満	300万円～500万円未満	500万円～1,000万円未満	1,000万円以上
291	0	0	0	0	0	0	0	0

四捨五入して千万円単位で記入してください。

「1,000万円以上」の場合は、金額も記入してください。

292

百億	十億	億
:	:	:

千万円

養殖業を行った方は、次のページへ
養殖業を行っていない方は、ここで終了です。
ご協力ありがとうございました。

Ⅲ 養殖業

湖沼またはその他の内水面において、養殖を行っている場合は記入してください。

- 1 過去1年間（平成29年11月1日～平成30年10月31日）の養殖業の従事者について、年齢別に実人数を記入してください。

(人)

		男			女		
計	311	・	・	・	・	・	・
15～19歳	312	・	・	・	・	・	・
20～24歳	313	・	・	・	・	・	・
25～29歳	314	・	・	・	・	・	・
30～34歳	315	・	・	・	・	・	・
35～39歳	316	・	・	・	・	・	・
40～44歳	317	・	・	・	・	・	・
45～49歳	318	・	・	・	・	・	・
50～54歳	319	・	・	・	・	・	・
55～59歳	320	・	・	・	・	・	・
60～64歳	321	・	・	・	・	・	・
65～69歳	322	・	・	・	・	・	・
70～74歳	323	・	・	・	・	・	・
75歳以上	324	・	・	・	・	・	・

養殖業の従事者とは、給餌、選別、養殖池の管理、出荷、経理・計算事務、養殖に係るすべての作業を行った人をいいます。

2 養殖種類

(1) 過去1年間に養殖したすべての養殖種類別に施設面積、使用面積を記入してください。
また、全国共通養殖種類において、販売金額が最も多かったものに記入してください。

面積の単位換算

1町=約 10,000㎡ 1坪=約 3.3㎡
1反=約 1,000㎡ 1アール=100㎡
1畝=約 100㎡

			施設面積						使用面積						販売金額が最も多かったものにマーク		
			百万	十万	万	千	百	十	(㎡)	百万	十万	万	千	百		十	(㎡)
全国共通養殖種類	食	にじます	331	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
		その他ます類	332	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
	用	あゆ	333	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
		こい	334	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
	種	ふな	335	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
		うなぎ	336	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
	苗	すっぽん	337	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
		海水魚種（ひらめ等）	338	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
	用	その他	339	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
		ます類	340	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
	種	あゆ	341	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
		こい	342	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
	類	用その他	343	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
		観賞用錦こい	344	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
	真	観賞用その他	345	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
		真珠	346	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0

「観賞用その他」には、「きんぎょ」、「めだか」や「みどりがめ」等の「錦ごい」以外の観賞用のものが含まれます。

(2) 過去1年間に養殖した地方選定養殖種類すべてを記入してください。

地方選定養殖種類が記載されていない場合、マークは不要です。

地方選定養殖種類	養殖したものにマーク	
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0

3 養殖方法

過去1年間に養殖したすべての養殖方法別に**養殖池数**、**養殖面積**を記入してください。
また、販売金額が**最も多かったもの一つ**に記入してください。

		養殖池数 (網いけす数、養殖池の区画数)	養殖面積										販売金額が最も多かったものにマーク
			百 十 (面)			百万 十万 万 千 百				十 (m ²)			
池中養殖	止水式	351	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	0
	流水式	352	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	0
	循環式	353	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	0
ため池養殖		354	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	0
網いけす養殖		355	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	0
その他養殖		356	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	0

真珠養殖の場合は、「養殖池数」の欄に区画漁業権の数を記入してください。

【面積の記入の注意】

施設面積については、所有（借入を含む。）するすべての養殖施設面積を記入してください。

養殖面積については、施設面積のうち、養成池、稚魚池、収穫時の補助池等、魚類の放養が可能な養殖池の面積を記入してください。（水質浄化用の沈殿池や濾過池等は除きます。）

使用面積については、養殖面積のうち、通常使用している（魚類を放養している。）面積を記入してください。

4 過去1年間の収穫物（養殖業）の販売金額（消費税を含む。）について、**当てはまるもの一つ**に記入してください。

販売金額なし	10万円未満	10万円～30万円未満	30万円～50万円未満	50万円～100万円未満	100万円～300万円未満	300万円～500万円未満	500万円～1,000万円未満	1,000万円～2,000万円未満	2,000万円～5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1億円以上
361	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

千億 百億 十億

362	・	・	・	・
-----	---	---	---	---

億円

「1億円以上」の場合は、金額も記入してください。

四捨五入して億円単位で記入してください。

調査は以上で終わります。
ご協力ありがとうございました。

2018年漁業センサス
内水面漁業調査
内水面漁業地域調査票

平成30年11月1日調査



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

	都府県 (振興局)	市区町村	水系	小水系	客体番号
基本指標番号	・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・

市区町村名

水系名

小水系名

- この調査は、全国の水系・小水系ごとに生産条件や活性化の取組等を把握し、水産業施策に必要な基礎資料の整備を目的としています。
調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。
- 記入に当たっては、「内水面漁業地域調査票の記入の仕方」をよく読んでください。
- **黒色の鉛筆**または**シャープペンシル**で記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

★ 数字は、1マスに1つずつ、枠からはみ出さないように右つめで記入してください。

★ マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。

記入例

記入例



A diagram showing a red circle with a black outline on the left, followed by a gray arrow pointing to the right, and then a solid black circle on the right. Both circles are enclosed in red square boxes.

つなげる すきまをあける

★ マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

記入例 1123

悪い例

- 調査票の内容については、本年（平成30年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間について記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成29年11月1日から平成30年10月31日までの1年間について記入してください。

- **調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。**
オンラインによる回答方法は、「オンライン調査システム操作ガイド」をご参照ください。

複数の河川（小水系）を管理している組合の場合は、(二)の項目について、河川（小水系）ごとに別調査票で記入してください。
そのほかの項目については、1枚にまとめて記入してください。

I 組合員数

11月1日現在の漁業協同組合の正・准組合員数について記入してください。

		万	千	百	十	(人)
正 組 合 員	101	:	:	:	:	:
准 組 合 員	102	:	:	:	:	:

II 生産条件

1 漁場環境

- (1) 11月1日現在で漁業協同組合の管轄区域内にある河川・湖沼関連施設について、**当てはまるものすべて**に記入してください。

	えん 堰	てい 堤	うち 魚道つき	魚礁・魚 巢ブロック	産卵場
111	0	0	0	0	0

堰堤… 水流をせき止めたり、調節したりするために、河川の途中や湖沼の出入り口に設けられた仕切り

魚礁・魚巢ブロック… 河川や湖沼に自然石やブロックを人為的に投入し、または設置した水産動植物の生息場

産卵場… 水産動物の産卵を行う場所として、禁漁区の設定、水生植物の保護・造成、河床の整備、浮産卵礁の設置、堆積物の除去等を行っている区画

- (2) 過去1年間（平成29年11月1日～平成30年10月31日）に漁業協同組合が行った漁場環境改善への取組について、**当てはまるものすべて**に記入してください。

	種 苗 生 産 ・ 放 流	中 間 育 成	保 護 水 面 の 管 理	産 卵 場 の 造 成 管 理	魚 道 の 管 理	魚 つ き 林 の 造 成	魚 つ き 林 の 造 成 以 外 の 植 樹 活 動	河 川 ・ 湖 沼 の 清 掃 活 動
121	0	0	0	0	0	0	0	0

魚つき林… 水面に対する森林の陰影の投影、魚類等に対する養分の供給、水質の汚濁防止等の作用により魚類のすむところの確保や繁殖を助ける目的で設けた林。ただし、魚つき保安林として指定されたものは除く。

植樹活動… 森林がもたらす栄養分に富んだ水の安定供給、保水機能、良質の土砂の供給等により魚介類等を殖やす目的で山に木を植え、その保育作業をすること。

- (3) 過去1年間に漁業協同組合が生産した種苗の種類について、**当てはまるものすべてに**記入してください。

放流等のために行う中間育成や
蓄養は除きます。

さけ・ます類	さく河性			陸封性				あゆ	こい	ふな	その他
	しろざけ	さくらます	その他	にじます	あまご	やまめ	いわな				
131	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- (4) 過去1年間に漁業協同組合の**放流したものについて、数量**を記入してください。

				本 年 値							前 回 値 (平成25年)								
				億	千万	百万	十万	万	千	百	十 (尾)	億	千万	百万	十万	万	千	百	十 (尾)
さ け ・ ま す 類	さく河性	しろざけ	141	・	・	・	・	・	・	0	0	0							
		さくらます	142	・	・	・	・	・	・	0	0	0							
		そ の 他	143	・	・	・	・	・	・	0	0	0							
	陸封性	にじます	144	・	・	・	・	・	・	0	0	0							
		あ ま ご	145	・	・	・	・	・	・	0	0	0							
		や ま め	146	・	・	・	・	・	・	0	0	0							
		い わ な	147	・	・	・	・	・	・	0	0	0							
		そ の 他	148	・	・	・	・	・	・	0	0	0							
あ		ゆ	149	・	・	・	・	・	・	0	0	0							
こ		い	150	・	・	・	・	・	・	0	0	0							
ふ		な	151	・	・	・	・	・	・	0	0	0							
う		な	ぎ	152	・	・	・	・	・	0	0	0							
そ の 他 の 魚 類			153	・	・	・	・	・	・	0	0	0							

		本年値								前回値(平成25年)							
		億	千万	百万	十万	万	千	百	十(粒)	億	千万	百万	十万	万	千	百	十(粒)
わかさぎ卵	154	.	.	.	.	.	0	0	0	0							
その他の卵	155	.	.	.	.	.	0	0	0	0							

		十 万 万 千 百 十 (kg)					十 万 万 千 百 十 (kg)						
貝	類	156	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.

2 遊漁の状況

- (1) 過去1年間における漁業協同組合が発行した遊漁承認証の枚数について、記入してください。

遊漁承認証の対象魚種が複数魚種の場合は、それぞれの対象魚種に同じ枚数を記入してください。
 (例) あゆ、やまめ及びこいの複数魚種を対象とした遊漁承認証を過去1年間に100枚発行した場合は、あゆ欄に100枚、ます類欄に100枚、こい・ふな類欄に100枚とそれぞれに記入してください。

				本 年 値				前 回 値 (平成25年)			
				万 千 百 十 (枚)				万 千 百 十 (枚)			
遊 漁 承 認 証	ま す 類	年 間	171	.	.	.	.	.	.	.	.
		漁 期 間	172	.	.	.	.	.	.	.	.
		1 日	173	.	.	.	.	.	.	.	.
	あ ゆ	年 間	174	.	.	.	.	.	.	.	.
		漁 期 間	175	.	.	.	.	.	.	.	.
		1 日	176	.	.	.	.	.	.	.	.
	こ い・ふ な 類	年 間	177	.	.	.	.	.	.	.	.
		漁 期 間	178	.	.	.	.	.	.	.	.
		1 日	179	.	.	.	.	.	.	.	.
	わ か さ ぎ	年 間	180	.	.	.	.	.	.	.	.
		漁 期 間	181	.	.	.	.	.	.	.	.
		1 日	182	.	.	.	.	.	.	.	.
	そ の 他	年 間	183	.	.	.	.	.	.	.	.
		漁 期 間	184	.	.	.	.	.	.	.	.
		1 日	185	.	.	.	.	.	.	.	.

- (2) 過去1年間における漁業協同組合が行った遊漁者への啓発・普及活動の取組について、**当てはまるものすべて**に記入してください。

	ポスター、 パンフレッ トの作成	講 習 会 の 催 開	そ の 他 の 啓 発 ・ 普 及 活 動
191	0	0	0

Ⅲ 活性化の取組

- 1 過去1年間に漁業協同組合が実施した都市との交流活動の取組について、その取組の参加人数を記入してください。

漁業体験と魚食普及活動を一体的に実施した場合については、それぞれに同じ人数を記入してください。

		参 加 人 数									
		本 年 値					前 回 値 (平成25年)				
		十	万	千	百	十	十	万	千	百	十
		(人)					(人)				
漁 業 体 験	201	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
魚 食 普 及 活 動	202	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
そ の 他	203	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

- 2 漁業協同組合の運営する水産物直売所の施設数及び過去1年間の利用者数（来場者数）について記入してください。

		(施設)		年 間 利 用 者 数									
		施 設 数		本 年 値					前 回 値 (平成25年)				
		本年値	前 回 値 (平成25年)	十	万	千	百	十	十	万	千	百	十
				(人)					(人)				
水 産 物 直 売 所	211	・	・	・	・	・	・	0	0	・	・	・	・

調査は以上で終わります。
ご協力ありがとうございました。

秘
農 林 水 産 省
統計法に基づく基幹統計調査
漁 業 構 造 統 計

2018年漁業センサス
流通加工調査

様式調第7号



政府統計

統計法に基づく国の
統計調査です。調査
票情報の秘密の保護
に万全を期します。

魚市場調査票

平成31年1月1日調査

大海区	都府県 (振興局)	市区町村	漁業地区	客体番号	市区町村名	漁業地区名		
基本指標番号	:	:	:	:	:	:		

○ この調査票は、統計の作成目的以外には使用せず、得られた個々の結果について、外に漏らしたり課税などの資料に利用することはなく、秘密を厳守することが法律により定められていますので、ありのままをご記入ください。

○ 記入に当たっては、「魚市場調査票の記入の仕方」をよく読んでください。

○ 黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

★ 数字は、1マスに1つずつ、枠からはみ出さないように右づめで記入してください。★ マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。

記入例

:	:	:	9	8	7	6	5	4	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

記入例

0	→	
---	---	--

つなげる すきまをあける

★ マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

記入例

11	2	3
----	---	---

悪い例

0	→		
---	---	--	--

○ 調査票の内容については、本年（平成31年）の1月1日現在で記入する箇所と、過去1年間について記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成30年1月1日から平成30年12月31日までの1年間について記入してください。

● 調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。

オンラインによる回答方法は、「オンライン調査システム操作ガイド」をご参照ください。

ここから記入してください

1 当てはまるものの一つに記入してください。

	法人でない	法人である
201	0	0

2 法人の場合は、法人番号（13桁）の記入をお願いします。

202	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

法人番号を活用した統計の精度向上及び効率化の取組に使用させていただきます。
個人のマイナンバー（12桁）を誤って記入しないようご注意ください。

1 魚市場の中で水揚げまたは搬入された漁獲物を卸売りするために使用できる売場の最大面積を㎡単位で記入してください。

十

万

千

百

十

(㎡)

101

:

:

:

:

:

:

2 1月1日現在の魚市場に所属する水産物卸売業者と水産物買受人の業者数を記入してください。

水産物卸売業者

111

:

:

:

:

水産物買受人

産地出荷業者

112

:

:

:

:

加工業者

113

:

:

:

:

その他

114

:

:

:

:

水産物買受人とは、水産物卸売業者から買い受ける産地出荷業者、加工業者等です。

産地出荷業者とは、水産物卸売業者から水産物を買受けて、他の卸売市場へ出荷する業者をいいます。

魚市場内の複数の卸売業者に同一の買受人が登録されている場合は、魚市場としての買受人数を記入し、重複させないでください。

3 魚市場における過去1年間（平成30年1月1日～12月31日）の取扱高について、数量欄に水産物取扱数量を、金額欄に水産物取扱金額（消費税を含む。）を記入してください。

		数 量							金 額									
		千	万	十	万	千	百	十	千	億	百	億	十	億	千	万	百	十
		(トン)							(万円)									
合計 ①+②	121	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
うち、活魚	122	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
水 揚 量 ①	123	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
搬 入 量 ②	124	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
うち、輸入品	125	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:

数量は、過去1年間に魚市場で取り扱われた水産物（活魚、生鮮品、冷凍品及び加工品）の数量です。また、第1次水揚量（内水面漁業、養殖業による生産品を含む。）のほか、他の漁業地域からの搬入量及び輸入品を含みます。

金額は、数量欄で記入した、魚市場で取り扱われた数量に対応する総金額（消費税を含む。）を記入してください。

4 1月1日現在で、魚市場において、水産物の品質・衛生等の管理を目的として設置されている機器について、当てはまるものすべてに記入してください。

海水殺菌装置	砕氷・製氷機	脱臭装置、排ガス処理装置	水産加工機器	その他
131	0	0	0	0

海水殺菌装置とは、海水の殺菌・減菌を目的とした装置
砕氷・製氷機とは、氷がけ等、魚市場内で使用する氷を製造するための装置

出荷用保冷車や漁船の船艙に積むための氷のみを製造する目的の装置は含めません。

脱臭装置、排ガス処理装置とは、建物内の空気の清浄を目的とした装置

水産加工機器とは、フィレマシーン、包装機などの水産物の一次加工、パック作業等を自動で行うための装置

調査は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

秘
農 林 水 産 省
統計法に基づく基幹統計調査
漁 業 構 造 統 計

2018年漁業センサス 流通加工調査

冷凍・冷蔵、水産加工場調査票

平成31年1月1日調査



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

大海区	都府県 (振興局)	市区町村	調査区	漁業地区	客体番号	市区町村名	漁業地区名		
基本指標番号	:	:	:	:	:	:	:		

- この調査票は、統計の作成目的以外には使用せず、得られた個々の結果についても、外に漏らしたり課税などの資料に利用することはなく、秘密を厳守することが法律により定められていますので、ありのままをご記入ください。
- 記入に当たっては、「冷凍・冷蔵、水産加工場調査票の記入の仕方」をよく読んでください。
- 黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

- ★ 数字は、1マスに1つずつ、枠からはみ出さないように右づめで記入してください。
- ★ マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。

記入例

:	:	:	9	8	7	6	5	4	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

記入例

0	→	●
---	---	---

つなげる すきまをあける

- ★ マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

記入例

11	2	3
----	---	---

悪い例

0	→	✓	0
---	---	---	---

- 調査票の内容については、本年（平成31年）の1月1日現在、前年（平成30年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間について記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成30年1月1日から平成30年12月31日までの1年間について記入してください。

- 調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。
オンラインによる回答方法は、「オンライン調査システム操作ガイド」をご参照ください。

ここから記入してください

- 1 当てはまるものの一つに記入してください。

	法人でない	法人である
401	0	0

- 2 法人の場合は、法人番号（13桁）の記入をお願いします。

402	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

法人番号を活用した統計の精度向上及び効率化の取組に使用させていただきます。
個人のマイナンバー（12桁）を誤って記入しないようご注意ください。

I 事業所の概要

1 過去1年間（平成30年1月1日～平成30年12月31日）に事業所で営んだ事業について当てはまるものすべてに記入してください。

また、そのうち事業の収入が最も多かったものについて、当てはまるもの一つに記入してください。

冷蔵倉庫業とは、冷凍・冷蔵施設で寄託品の保管を行う事業で、倉庫業法(昭和31年法律第121号)に基づくものをいいます。

水産物卸売業とは、水産物を出荷者からの販売委託または買い受けて卸売りする事業をいいます。

水産物仲卸(買)業とは、水産物を卸売業者から買い、小売店などに販売する事業をいいます。

水産物小売業とは、水産物仲卸(買)業者から水産物を買、消費者に販売する事業をいいます。

		冷蔵倉庫業	水産加工業	漁業・養殖業	水産物卸売業	水産物仲卸(買)業	水産物小売業	その他
営んだ事業 (該当すべてにマーク)	101	0	0	0	0	0	0	0
収入が最も多かった事業 (一つにマーク)	102	0	0	0	0	0	0	0

2 平成30年11月1日現在の事業所における従業員数を記入してください。

		男				女			
		千	百	十	(人)	千	百	十	(人)
常時従業者	111	.	.	.	.	.	.	.	.
うち、雇用者	112	.	.	.	.	.	.	.	.
その他	113	.	.	.	.	.	.	.	.

		千	百	十	(人)
うち、外国人	常時従業員	114	.	.	.
	その他	115	.	.	.

常時従業員とは、実務にたずさわらない事業主、他の会社等へ出向・派遣している人及び研修生を含まない、次の①～④のいずれかに該当する人をいいます。

- ① 個人事業主及び無給の家族従事者
- ② 有給の役員（役員報酬の賃金・給与体系の人）
- ③ 雇用者（賃金・給与（現物給与を含む。）を支給されている人）
 - ・ 役員の肩書きがあるものの、役員報酬ではなく、雇用者と同じ賃金・給与体系の人
 - ・ 期間を定めずに従事している人
 - ・ 1か月以上の期間を定めて従事している人
- ④ 出向・派遣受入者
 - ・ 1か月以上の期間を定めて従事している人

雇用者とは、常時従業員のうち③の「雇用者」に該当する人をいいます。

その他とは、常時従業員以外の従業員をいいます。

- ・ 1か月未満の期間を定めて雇用されている人
- ・ 日々雇用（日雇い）されている人、など

外国人には、「常時従業員」及び「その他」のそれぞれに含まれている外国人の人数を記入してください。

なお、外国人技能実習制度における雇用契約に基づく技能等修得活動及び修得した技能等を要する業務に従事している場合は従業員に含めますが、講習による知識修得活動期間中の人は従業員に含めません。

II 冷凍・冷蔵工場

以下に該当する場合は、このページを記入してください。
該当しない場合は次のページへ進んでください。

主機10馬力（7.5kw）以上の冷凍・冷蔵施設を所有し、調査日前1年間（平成30年1月1日～平成30年12月31日）に水産物を低温保管した事業所または水産物の凍結作業を行った事業所が対象です。

なお、冷蔵倉庫業の他、水産加工場が所有する主機10馬力（7.5kw）以上の自家用冷凍・冷蔵施設で、加工原料や製品を保管した場合も含めます。

1 事業所の冷凍・冷蔵施設の用途について、当てはまるもの一つに記入してください。

営業用とは、倉庫業法に基づき営業許可を受けた冷蔵倉庫で、水産物の保管に用いるものをいい、自営品のみを扱った工場であっても、倉庫業法に基づくものは含めます。

自家用とは、倉庫業法に基づかない冷蔵倉庫で、水産物の保管に用いるものをいい、寄託品を扱っている工場であっても、倉庫業法に基づかないものは含めます。

営業用	自家用
201	00

2 過去1年間に事業所の冷凍・冷蔵施設を利用した利用者について、当てはまるものすべてに記入してください。

また、そのうち入庫量が最も多かった利用者について、当てはまるもの一つに記入してください。

漁業協同組合等には、漁業協同組合の他、漁業生産組合及び漁業協同組合連合会を含めます。

漁業者には、個人の他、会社等の法人を含めます。

水産加工業協同組合等には、水産加工業協同組合の他、水産加工業協同組合連合会、その他の加工組合（事業協同組合、企業組合等）を含めます。

加工業者には、個人の他、会社等の法人を含めます。

		寄託品							自営品
		漁業協同組合等	漁業者	水産加工業協同組合等	加工業者	卸売業者	買受人	その他	
利用者 (該当すべてにマーク)	211	0	0	0	0	0	0	0	0
入庫量が最も多かった利用者 (一つにマーク)	212	0	0	0	0	0	0	0	0

3 平成31年1月1日現在の事業所における冷凍・冷蔵施設の冷蔵能力（収容トン数）及び1日当たりの凍結能力をトン単位で記入してください。

		十	万	千	百	十	(トン)
冷蔵能力	221	:	:	:	:	:	:

		十	万	千	百	十	(トン/日)
凍結能力	222	:	:	:	:	:	:

(冷蔵能力の換算率) $1\text{m}^3 = 0.4\text{トン}$

Ⅲ 水産加工場

以下に該当する場合は、このページ以降を記入してください。
該当しない場合は、終わりです。ご協力ありがとうございました。

調査日前1年間（平成30年1月1日～平成30年12月31日）に、販売を目的として、水産物を原料として加工製造を行った事業所の方が対象です。

なお、漁業を営む事業所・世帯であっても、加工製造のための作業場等を有し、かつ専従の従事者を雇って加工製造を行っている場合も対象となります。

※ 水産加工品とは、水産動植物を主原料（原料割合で50%以上）として製造された食用加工品、生鮮冷凍水産物及び飼肥料等のことです。

- 1 過去1年間に事業所で生産したすべての水産加工品について、その種類ごとに生産量をkg単位で記入してください。

			301										301								
			生 産 量										生 産 量								
			千	百	十	万	千	百	十	(kg)				千	百	十	万	千	百	十	(kg)
ねり製品	かまぼこ類	①											煮干しいわし	①7							
	魚肉ハム・ソーセージ類	②											煮しらす干し	①8							
冷凍食品	魚介類	③											煮干しいかなご・こうなご	①9							
	その他	④											干し貝柱	②0							
水産物調理性食		⑤											その他	②1							
		⑥											塩蔵いわし	②2							
素干し品	するめ	⑦											塩蔵さば	②3							
	いわし	⑧											塩蔵さけ・ます	②4							
塩干品	その他	⑨											塩蔵たら・すけとうだら	②5							
	干しいわし	⑩											塩蔵さんま	②6							
	干しあじ	⑪											その他	②7							
	干しさんま	⑫											くん製品	②8							
	干しさば	⑬											缶・びん詰	②9							
	干しかれい	⑭											寒天	③0							
	干しほっけ	⑮											油脂	③1							
	干しはたはた	⑯											飼肥料	③2							
その他	⑰																				

		301 生 産 量 千 百 十 万 万 千 百 十 (kg)							
節 製 品	節 類	かつお節 (33)	:	:	:	:	:	:	:
		かつお節 (34)	:	:	:	:	:	:	:
		さば節 (35)	:	:	:	:	:	:	:
		その他 (36)	:	:	:	:	:	:	:
	けずり節	かつお節 (37)	:	:	:	:	:	:	:
その他 (38)		:	:	:	:	:	:	:	
その他の食用加工品	いか塩辛 (39)	:	:	:	:	:	:	:	
	水産物漬物 (40)	:	:	:	:	:	:	:	
	こんぶつくだ煮 (41)	:	:	:	:	:	:	:	
	乾燥・焙焼・揚げ加工品 (いか製品) (42)	:	:	:	:	:	:	:	
	その他 (43)	:	:	:	:	:	:	:	
生鮮冷凍水産物	冷凍まぐろ類 (44)	:	:	:	:	:	:	:	
	冷凍かつお類 (45)	:	:	:	:	:	:	:	
	冷凍さけ・ます類 (46)	:	:	:	:	:	:	:	
	冷凍いわし類 (47)	:	:	:	:	:	:	:	
	冷凍まあじ・むろあじ類 (48)	:	:	:	:	:	:	:	
	冷凍さば類 (49)	:	:	:	:	:	:	:	

		301 生 産 量 千 百 十 万 万 千 百 十 (kg)								
生 鮮 冷 凍 水 産 物 (つづき)	冷凍さんま (50)	:	:	:	:	:	:	:	:	
		冷凍たら類	冷凍まだら (51)	:	:	:	:	:	:	:
			冷凍すけとうだら (52)	:	:	:	:	:	:	:
	冷凍ほっけ (53)	:	:	:	:	:	:	:	:	
		冷凍いかなご・こうなご (54)	:	:	:	:	:	:	:	
			冷凍はたはた (55)	:	:	:	:	:	:	:
		冷凍たい類 (56)	:	:	:	:	:	:	:	
			冷凍ほたてがい (57)	:	:	:	:	:	:	:
	冷凍いか類 (58)	:	:	:	:	:	:	:		
		冷凍かに類 (59)	:	:	:	:	:	:	:	
		冷凍かき類 (60)	:	:	:	:	:	:	:	
	冷凍すり身	その他冷凍魚類・冷凍水産物類 (61)	:	:	:	:	:	:	:	
		すけとうだら (62)	:	:	:	:	:	:	:	
			いわし・さば (63)	:	:	:	:	:	:	:
		ほっけ (64)	:	:	:	:	:	:	:	
その他 (65)		:	:	:	:	:	:	:		

		十 億 億 千 百 十 万 万 千							
原料の板のりに換算した枚数を記入してください。		焼・味付のり (66)	:	:	:	:	:	:	:

百枚

2 過去1年間に事業所で生産したすべての水産加工品について、**年間の販売金額が最も多かった種類を、上記1の番号①～⑥6から一つ選んで記入してください。**

年間販売金額第1位の水産加工品の種類	311	:	:
--------------------	-----	---	---

- 3 過去1年間の事業所における水産加工品の販売金額（消費税を含む。）について、**当てはまるもの一つ**に記入してください。

100 万円 未 満	100 万円 未 満	500 万円 未 満	1,000 万円 未 満	5,000 万円 未 満	1 億円 未 満	5 億円 未 満	10 億円 未 満	10 億円 未 満
321	0	0	0	0	0	0	0	0

水産加工品以外の製品を販売している場合は、事業所の総販売金額（消費税を含む。）のうち、水産加工品のみ
の販売金額（消費税を含む。）に該当する区分に記入してください。

「10億円以上」の場合は、金額も記入してください。

千億 百億 十億 (億円)

322	:	:	:	:
-----	---	---	---	---

製造した水産加工品を自社の他事業所へ加工原料として提供した場合には、その分の金額は販売したものとして見積もってください。

四捨五入して億円単位で記入してください。

- 4 過去1年間の事業所における水産加工品の出荷先について、**当てはまるものすべて**に記入してください。

流通業者は、卸売業者等に国内向けに出荷している場合をいいます。

小売業者は、スーパー（量販店含む。）、生協、鮮魚商等へ出荷している場合をいいます。

自家販売・直売所は、自家店舗、通販、インターネット販売、行商などで消費者へ直接販売している場合、または、直売所、道の駅などで場所を借りて販売している場合をいいます。

海外向け（輸出）は、貿易商社や団体を通して、海外向けに出荷（輸出）している場合をいいます。

国 内 向 け								海 外 向 け (輸 出)
漁協、 加工業者 等の組合	加工業者	流通業者	小売業者	外食産業・ 給食業者等	卸売市場・ 荷さばき所	自家販売・ 直売所	その他	
331	0	0	0	0	0	0	0	0

- 5 過去1年間の事業所における原材料（水産動植物）の仕入れ状況について

- (1) 原材料に占める国産品の割合（重量ベース）について、**当てはまるもの一つ**に記入してください。

す べ て 国 産	70 % 以 上	50 % 未 満	30 % 未 満	30 % 未 満	す べ て 輸 入
341	0	0	0	0	0

これらを選んだ場合は(2)もお答えください。

- (2) 事業所における国産原材料の仕入先について、**当てはまるものすべて**に記入してください。

漁業者	漁業協同組合	その他
342	0	0

漁業協同組合には、漁業協同組合が開設する魚市場から仕入れた場合を含めてください。

その他には、漁業を営む事業所・世帯において加工原料を自ら漁獲・収穫している場合も含めてください。

調査は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。